

妙安寺だより 417

5月1日より、改元により、元号が「令和（れいわ）」になります。

政府の発表によると、典拠は『万葉集』巻五、梅花の歌32首の序文「のにして、くらぎ、はのをき、はのをらす」から、ということです。

私なりの現代語訳をさせていただきますと、「春の初め、澄み渡る月が見えている。気候はよく、風も心地よく吹いている。梅の花は、鏡の前に置いてある、おしろいの入れ物を開けたように白く、蘭の花の香りは、玉などの装飾品を身につけた方から薫る、お香の匂いよりも際立っている。」となります。（諸々のとらえ方があります）

珮とは、高貴な方が身につける装飾品の飾り玉のことです。

このことから、新元号には、「平穏な時代を」という意味があるかと思えます。

仏教読みをすると、「令」は「りょう」と読みますので、「令」＝「良」となります。

お坊さんの場合は、「りょうわ」と読んでしまいましたが、意味を考えると正しいのではないかと感じてしまいます。

5月の行事予定

5月11日（土）午後2時 勉強会

お勤めの後、日蓮聖人の御遺文について勉強します

*** 本年の「地涌の声」(寺報に同封されている教箋)の功德主を募集しています。**

*** お墓参りの際、お墓へのお供え物は、お持ち帰りください。鳥・不審者などにより、お墓が荒らされる原因になります。**

*** 18時に閉門します。閉門後は番犬を放していますので、ご注意ください**
閉門後も駐車場に駐車される場合は、一言お声かけください。不審車両と間違えます。

*** ヤフオクドームにて催事開催時には、周辺道路が混雑します。余裕をもってお参り下さい。**